



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント  
 コード番号 2124 URL <http://corp.jac-recruitment.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松園 健  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 管理本部長 (氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	2,477	13.4	663	△3.1	663	△3.2	410	△1.4
26年12月期第1四半期	2,184	27.4	683	41.1	685	41.4	416	45.2

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 410百万円(△1.4%) 26年12月期第1四半期 416百万円(45.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	10.18	—
26年12月期第1四半期	10.33	—

(注) 1. 当社は平成27年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	6,470	5,389	83.3
26年12月期	7,715	5,503	71.3

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 5,389百万円 26年12月期 5,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	26.00	26.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は平成27年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成26年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,085	13.3	1,406	4.1	1,407	3.9	887	9.3	21.99
通期	10,540	13.6	2,939	10.3	2,941	10.3	1,832	15.6	45.41

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は平成27年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期1Q	41,292,000株	26年12月期	41,292,000株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	944,178株	26年12月期	944,178株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期1Q	40,347,822株	26年12月期1Q	40,347,822株

(注) 当社は平成27年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループのセグメント区分は、経営単位である拠点・会社別に記載しております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げの影響を受けた不透明感により出足は鈍かったものの、景気の回復継続に対する期待感を背景に企業の求人意欲は上昇し、2月の有効求人倍率は1.15倍という22年ぶりの高水準となりました。前年度末における求人内定人数減少の影響が当社グループの当期間における売上高・利益には若干表れましたが、こうした経済環境の好転が後押しとなり、また、マネージメントの強化など社内施策の奏功もあって、2月以降は中高額の求人案件を扱う主力の人材紹介事業における求人内定人数は増加し、今年度上半期の売上高並びに利益計画に対する目途を立てることができる状況となりました。

今年度の当社グループ人材紹介事業においては、高額案件への対応に必要となる、経験豊かなコンサルタントを育てることに重点を置いて、当業界を代表するプロフェッショナル集団となるため、一層の努力を払ってまいります。

以下は、過去5年間、徹底的に取り組んできた経営指針「PPP&I」であります。

- ① Professional 「人材紹介コンサルタントのプロフェッショナル化」
- ② Productivity 「生産性の向上」
- ③ Profitability 「利益の絶対額と利益率の向上」
- ④ International 「日系企業の海外関連求人、外資系企業求人、グローバル人材領域の強化」

これに加えて、今年度は「Professional Value, Team Value and Company Value(個人はプロを目指し、チームワークで勝利をおさめ、企業価値を高める)」をキーワードとして、株主・顧客・従業員が満足できる「魅力的」な企業を目指し、企業価値の向上に積極的に取り組んでまいります。

人材紹介業界においては、育成したコンサルタントの長期定着が業容拡大のための重要テーマであります。これについては、前年度に導入した半期組織目標の達成を支給基準とする組織目標達成報酬制度(チームインセンティブ制度)が効果をもたらし、前年度の退職者数が前々年度比でほぼ半減したことから、同制度の運用を今年度も継続しております。また、個人の業績を反映する形となっている給与体系につきましても、今年度は業績優秀者への配分をさらに強化して、優秀なコンサルタントのさらなる定着を図ってまいります。

一方、経費につきましては必要最低限の水準で推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,477百万円(前年同期比13.4%増)となりました。セグメント別売上高は、東京本社が1,460百万円(同20.1%増)、横浜支店が172百万円(同37.3%増)、名古屋支店が161百万円(同43.2%増)、大阪支店が419百万円(同4.1%増)、京都支店が63百万円(同2.9%減)、神戸支店が56百万円(同18.6%減)、JAC Internationalが57百万円(同49.2%減)、シー・シー・コンサルティングが86百万円(同9.1%増)となっております。

利益面では、営業利益は663百万円(前年同期比3.1%減)、経常利益は663百万円(同3.2%減)、四半期純利益は410百万円(同1.4%減)となりました。セグメント別損益は、東京本社が435百万円(同6.2%増)、横浜支店が64百万円(同64.7%増)、名古屋支店が48百万円(同84.2%増)、大阪支店が112百万円(同14.5%減)、京都支店が15百万円(同30.5%減)、神戸支店が14百万円(同48.9%減)、JAC Internationalが△8百万円(前年同期は13百万円)、シー・シー・コンサルティングが△19百万円(前年同期は12百万円)となっております。

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
東京本社	1,460	120.1
横浜支店	172	137.3
名古屋支店	161	143.2
大阪支店	419	104.1
京都支店	63	97.1
神戸支店	56	81.4
JAC International	57	50.8
シー・シー・コンサルティング	86	109.1
合計	2,477	113.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

なお、事業別・業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

事業・業界部門	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
1. 人材紹介事業		
電気・機械・化学業界	863	114.2
消費財・サービス業界	574	105.3
メディカル・医療業界	458	111.1
I T・通信業界	265	134.9
金融業界	214	115.4
その他	14	166.0
人材紹介事業 計	2,391	113.6
2. 求人広告事業		
求人広告事業 計	86	109.1
合計	2,477	113.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金1,096百万円減少、繰延税金資産(流動)162百万円減少、売掛金66百万円増加等により、前連結会計年度末に比べて1,244百万円減少の6,470百万円となりました。

負債につきましては、未払費用563百万円減少、未払法人税等661百万円減少、賞与引当金299百万円増加、未払消費税等152百万円減少等により、前連結会計年度末に比べて1,131百万円減少の1,081百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益410百万円、剰余金の配当524百万円により、前連結会計年度末に比べ113百万円減少の5,389百万円となり、自己資本比率は83.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の連結業績予想につきましては、第2四半期(累計)、通期ともに平成27年1月30日開示の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,565	4,469
売掛金	528	594
貯蔵品	0	0
前払費用	76	89
繰延税金資産	312	149
その他	40	3
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	6,520	5,303
固定資産		
有形固定資産		
建物	179	179
減価償却累計額	△102	△105
建物(純額)	77	74
工具、器具及び備品	188	184
減価償却累計額	△126	△127
工具、器具及び備品(純額)	61	56
リース資産	11	11
減価償却累計額	△8	△9
リース資産(純額)	2	2
有形固定資産合計	141	133
無形固定資産		
のれん	634	618
商標権	0	0
ソフトウェア	16	14
その他	15	15
無形固定資産合計	666	649
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	0	0
敷金及び保証金	375	372
長期前払費用	0	0
繰延税金資産	8	8
長期未収入金	9	9
その他	1	1
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	386	384
固定資産合計	1,195	1,167
資産合計	7,715	6,470

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
リース債務	2	2
未払金	331	179
未払費用	686	123
未払法人税等	759	97
未払消費税等	310	157
預り金	44	118
前受収益	50	81
賞与引当金	—	299
解約調整引当金	24	18
流動負債合計	2,210	1,079
固定負債		
リース債務	0	—
役員退職慰労引当金	1	1
固定負債合計	2	1
<b>負債合計</b>	<b>2,212</b>	<b>1,081</b>
純資産の部		
株主資本		
資本金	619	619
資本剰余金	785	785
利益剰余金	4,139	4,026
自己株式	△41	△41
株主資本合計	5,503	5,389
<b>純資産合計</b>	<b>5,503</b>	<b>5,389</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>7,715</b>	<b>6,470</b>



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	2,184	2,477
売上原価	41	54
売上総利益	2,142	2,422
販売費及び一般管理費		
役員報酬	73	92
給料及び手当	584	699
法定福利費	119	143
退職給付費用	16	20
賞与引当金繰入額	236	299
役員退職慰労引当金繰入額	-	0
貸倒引当金繰入額	0	0
地代家賃	103	137
減価償却費	11	13
のれん償却額	13	15
広告宣伝費	120	134
その他	180	201
販売費及び一般管理費合計	1,458	1,759
営業利益	683	663
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	0	-
設備賃貸料	0	0
未払配当金除斥益	0	-
還付消費税等	0	-
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	2	1
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	-	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	685	663
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	685	663
法人税、住民税及び事業税	191	90
法人税等調整額	77	162
法人税等合計	268	253
少数株主損益調整前四半期純利益	416	410
四半期純利益	416	410

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	416	410
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	416	410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	416	410
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								報告セグメント計	調整額	合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	JAC International	シー・シー・コンサルティング			
売上高											
外部顧客への売上高	1,215	125	112	403	65	69	113	78	2,184	—	2,184
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	—	—	—	—	0	2	5	△5	—
計	1,217	125	112	403	65	69	114	81	2,189	△5	2,184
セグメント利益	410	39	26	131	22	29	13	12	685	—	685

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. シー・シー・コンサルティングの報告セグメントには、のれん償却額13百万円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								報告セグメント計	調整額	合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	JAC International	シー・シー・コンサルティング			
売上高											
外部顧客への売上高	1,460	172	161	419	63	56	57	86	2,477	—	2,477
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	—	—	—	—	—	2	2	△2	—
計	1,460	172	161	419	63	56	57	88	2,480	△2	2,477
セグメント利益又は損失(△)	435	64	48	112	15	14	△8	△19	663	—	663

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. シー・シー・コンサルティングの報告セグメントには、のれん償却額15百万円が含まれております。